

# ブラックバスによるアユ食害調査実態調査

## ブラックバス生態調査

牧野賢治・平野 匠

平成14、15年度の調査により越年魚のブラックバスについての知見を収集することができた。16年度については、ブラックバス資源への新規加入群となる当歳魚についての調査をおこない、吉野川におけるブラックバス当歳魚の実態を解明する。

### 調査方法

平成16年7月1日から第十堰周辺に2定点を設けて、セルピン、ブラックバストラップ(写真1, 2)によるブラックバス当歳魚の採捕を実施した。セルピン、トラップは夕方に設置し、翌日の午前中に回収した。調査は5~10日間隔で行った。捕獲した当歳魚は尾数、体長を測定した。

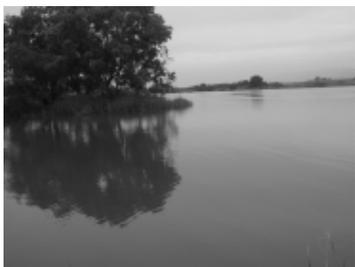


写真1 調査地点(写真手前の岸と対岸)

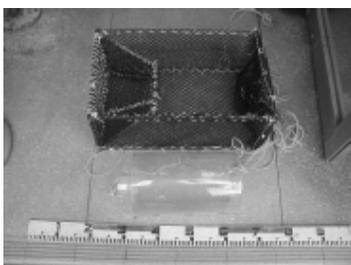


写真2 使用したセルピン(下)とトラップ(上)

### 結果

採捕結果について、7月は採捕なし。8月は、12日に、ブラックバス2尾(体長11.5, 7.4cm)を採捕された。その後、度重なる台風、大雨の影響により、河川が増水したため調査が不可能となった。水位が下がった11月に調査を再開しようとしたが、調査地点が大量の土砂に埋まっていたため、調査を中止した。

表1 採捕結果

採捕日	採捕結果
7月8日	採捕なし
7月13日	採捕なし
7月23日	採捕なし
7月28日	採捕なし
8月12日	ブラックバス2尾、フナ10尾、モロコ1尾、テナガエビ3尾
11月9日	採捕不可能



写真3 セルピンで採捕されたブラックバス